

留学レポート7

1年次在籍
市原 柳奈子

アメリカでの学校生活もあと2週間となる中、締めくくりのための食事会に参加したり、年の終わりに行われる国際交流イベントに参加したりして、ホストファミリーたちと残りの滞在期間を楽しんで過ごしています。

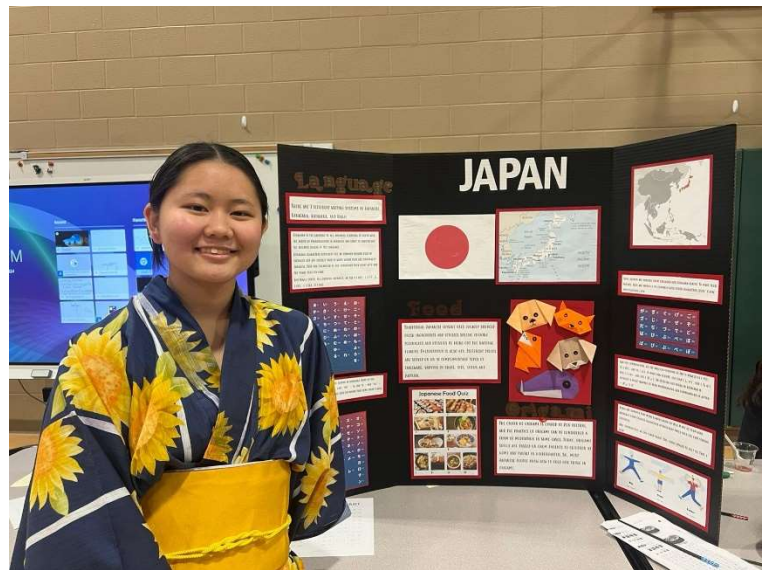
クラブ活動や部活動など様々な所で、一年の締めくくる食事会(banquet)が最近によく行われています。私の場合は、水泳の食事会に参加し、今度コーラスのものにも行く予定です。具体的にその食事会で何をするかというと、一緒に頑張ったメンバーやコーチ、先生、サポートしてくれた人や家族と一緒に食事をします。きれいな会場でパーティーのような感じで行われます。食事をしながら、この一年で頑張った人をたたえる賞がコーチや先生からおられました。水泳のものでは、最高学年へのお別れとして寄せ書きをした写真が贈られました。また、私が一年しかいないということで、チームメイトは私にも大きな寄せ書きの写真を渡してくれました。卒業生(senior)からは、キャプテンたちが考えるそれぞれの性格をもとにして紙皿に絵をかいたかわいらしいプレゼントが一人一人に贈られました。そのあとは引き続き食事をしたり、友達と写真を撮ったりするなど楽しい時間を過ごしました。



また、ホストシスターの小学校や私の学校での年一回開催される国際交流イベントが立て続けにありました。ホストシスターの学校では、私の学校の高校生が小学生に対して様々な国の文化だったりいろいろなアクティビティーをする形で行われる形で、ちょうど日本を担当する人を探しているということだったので、日本に住んでいたことのあるホストマザーと一緒になにをするか考えてボードを作ったりしました。日本のブースでは、折り紙を教えたり、箸をつかう機会を設けたり、日本食クイズを出したりしました。また、カタカナで自分の名前を書くというアクティビティーも作りました。

私が主に手伝ったのは、カタカナで名前を書くというものです。英語で表記できる音が日本語の音にないことが多いので、私がおその人の名前を聞いて、それをカタカナで紙に書き、その下でカタカナの練習ができるような形で行いました。小学生だけでなく、先生や大人、高校生も来てくれました。私は当日浴衣を着ていたので私と写真を撮りたいという子もいたのでうれしかったです。折り紙のブースも人気があったので、その小学校のイベントはものすごく楽しめました。

そして先日は私の高校でのイベントがありました。高校の方は、各国のブースがあるというだけでなく、ブースでそれぞれのTシャツやお菓子などの販売、そしてメインステージでは大きなショーがありました。伝統的な衣装を着てやるファッションショーや、ダンス、各国の伝統的な見せもの、などがありました。日本クラブの中ではダンスとして日本の「ヲタ芸」をやる予定だったそうですが難しかったようで、今年はダンスをあきらめ、ブースとファッションショーだけをやりました。



ファッションショーでは、私と日本クラブの友達がお浴衣を持っていたので、2人で出演しました。ステージの上を歩いて最後にはほかの国の人とも歩いて終わるという感じで、とてもシンプルですぐ終わったのですが、他の国のきれいな衣装を見ることが楽しかったです。

そのあとは中国、インド、スペイン、フィリピン、ベトナム、韓国、アフリカなど各国と地域のショーがありました。(他にもいろいろなパフォーマンスがありました。)それぞれすごくレベルが高く、ダンスはすごく圧倒的でした。ベトナムのきれいな扇子のパフォーマンスはすごく好きで印象に残っています。その中でも一番人気があって私自身のお気に入りには韓国のKポップを基にしたダンスです。それほどKポップのファンではないですが、そのような私でも興奮するようなパフォーマンスでした。

この国際交流イベントについて、私が感銘を受けたのは、その国の出身かどうか、ルーツがあるかどうかに関係なく、誰でもどの国のクラブにでも参加できること、そして、そもそもこのような大きな交流の場があるとい

うことが挙げられます。私自身は水泳の練習があったためあまりクラブに参加することはできなかったのですが、その国の出身でなくてもその国の文化を知らながら一員となって参加するというのが良いと感じていて、もし忙しくなかったら私自身もほかの国のクラブに参加していたと思います。

これは多文化国家のアメリカならではのことだとは思いますが、そもそもこういう国際交流があるということ、その企画をしている側だけでなく、全員がこの交流を楽しみにし、そして当日もすごく楽しんでいるということが私としてはものすごく好きです。もし日本で国際交流の機会があったとしてもそれほどみんなが興奮するわけではないのではないかなと思うくらいの規模の大きさと、日本でもこういうものが実現したらすごく楽しいだろうと思うような印象の深い出来事でした。

学校生活も含め、アメリカに滞在するのは残り約1か月となり、ホストファミリーがアメリカでしかできないことや私がやりたいこと、好きなことをよく計画してくれています。海に行くことや、ヒューストンの宇宙センターに行くこと、好きな食べ物を作ったり食べたりすることなどです。

先週末にはホストファザーと一緒に車のショーを見に行きました。日本ではあったとしてもきっと岐阜県内にはないと思います。映画などの影響で車が好きな私のために連れて行ってくれました。エンジンのことなど中身のことはすこしばかり知っていたのですが、車の種類については私のお気に入りのものや日本車くらいしか知らなかったため、色々な種類をホストファザーに教えてもらいました。100台では収まらないくらい本当にたくさんの車があり、多くの人が帰るときには、その車の持ち主たちはその車で帰るので、その時の道路はまさに映画で見るような盛り上がりで速い車が次々と走っていてすごく楽しかったです。今回一番興奮したこととしては、私のお気に入りの車を見つけたこと、その車の日本バージョンを見つけたことが挙げられます。それらの車と写真を撮って楽しみました。スポーツカーだけでなく、エンジンが丸出しの車だったり、昔のファミリーカーだったりいろいろな車があって、日本ではあまり見るできない光景だと思いながらすごくいい時間を過ごしました。



残りの学校生活では、コーラスの締めコンサートと食事会があり、いくつかの学年末テストがあり、最高学年たちの卒業式が2週間後にあって1年間の学校生活が終わりになります。「まだまだ滞在時間がある」と感じていた私は今では「もう学校も終わるんだ」という驚きでいっぱいです。残りの2週間、友達とも楽しめます。また、夏休みに入るとホストファミリーたちとグランドキャニオンに行くという大きな旅行もやってくるのでそれも楽しみにしながら、彼らと過ごす時間も大切に過ごしていきたいと思います。

